

大分県

# 宇佐市



面積：439.05 km<sup>2</sup>

人口：54,499人(平成30年12月1日現在)

市の木：イチイガシ / 市の花：ツツジ

## ピースツーリズム



戦後70年以上が経過した現在においても、宇佐海軍航空隊跡を中心に多くの戦争遺構が残されています。宇佐市では、これらの戦争遺構群を保存・継承し、「平和の大切さと命の尊さ」について考える機会を創出します。

## グリーンツーリズム



グリーンツーリズム発祥の地としても知られる安心院地区では、“1回泊まれば遠い親戚、10回泊まれば本当の親戚”をキャッチフレーズに、農村に滞在し自然や文化、食や人々の暮らしを体験する「農家民泊」に取組み、年間で約9,000人の体験者が訪れています。

## 【市の概要】

大分県の北部、国東半島の付け根に位置する宇佐市は、北に周防灘が開け、南には標高1,000m弱の山岳がそびえており、南北に約30km、東西に約15kmの距離を持つ広大な地勢で、海浜地域から平野地域、都市地域、内陸盆地地域及び大規模な森林地域まで、多様な地域を有しています。

全国に約4万社ある八幡社の総本宮「宇佐神宮」をはじめ、郷土の偉人である昭和の大横綱「双葉山」、院内の「石橋」、安心院の「鏝絵」、「麦焼酎出荷量」、「どじょう(養殖)」と宇佐市には6つの日本一が存在しています。また、「神仏習合」、「神輿」、「放生会」、「万年と青」、「からあげ専門店」、「グリーンツーリズム」と日本で初めて発祥したのも6つ有するなど、多くの歴史的文化遺産や農林水産物に恵まれたまちです。

## 【大分県 宇佐市】



### ふたば さと 双葉の里

宇佐市出身、大相撲で69連勝という前人未到大記録を達成した昭和の大横綱「双葉山」の資料館です。双葉山愛用の化粧まわし、火鉢など約80点の貴重な資料が展示されており、当時の間取りに基づき復元された生家も隣接しています。現役時代から親方、相撲協会理事長時代をとおり、力士の鏡として「心・技・体」で表す「相撲道」を極め貫く精神は今もなお語り継がれています。



### にししいや けい 西椎屋の景(宇佐のマチュピチュ)

国道387号線から望む西椎屋地区は、地元の人が秋葉様(火伏せの神)を祀る円錐形の山を背景にした棚田と集落の景観が「空中都市」とも呼ばれている世界遺産の南米ペルーのマチュピチュに似ていることから「宇佐のマチュピチュ」と呼ばれています。平成28年には、美しい景観を一望できる展望台も完成しています。



### う さ じんぐう 宇佐神宮

伊勢神宮につぐ第二の宗廟そうびょうとして皇室からも崇敬される、全国八幡社の総本宮です。日本古来の神と、外来の仏教とともに信仰する神仏習合発祥の地しんぶつしゅうごうともいわれており、境内には国宝の本殿のほか多くの社殿が点在しています。鎌倉幕府を開いた源頼朝が八幡大神を守り神としていたことほちまんのおかみから勝ち運にご利益があるともいわれています。



### ひがしいや たき 東椎屋の滝

日本の滝百選に選ばれており、高さ85mの断崖を直下型に落下する様子が日光華厳の滝に似ていることから「九州華厳」という別名を持っています。高貴端麗な名瀑で、滝つぼから流れ出る清流、溪谷の見事さも特色の一つです。溪谷に新緑が映える初夏、木々が色づく秋ともに素晴らしい景観を誇っています。